

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 22 年 4 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891200016		
法人名	有限会社 凜成		
事業所名	グループホーム 花あかりの家	ユニット名	グループホーム2階
所在地	〒313-0106 茨城県常陸太田市下利員町1262番地の1		
自己評価作成日	平成22年4月 2日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>畑があり、毎年スタッフの協力も得ながら、野菜を作って収穫しています。また施設からの眺めがよく陽気や天気の良い日は、スタッフと共に散歩へ出掛けたりします。</p> <ul style="list-style-type: none">・毎月行事（誕生会、外出、催し物）を行い入居者と共に楽しんでいます。・スタッフ間のコミュニケーションが取りやすいように、話を聞いたり相談に乗ったりしています。 又入居者様の問題点も皆で共有できるように、ミーティング等で話し合う様にしています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型のサービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を再確認し、スタッフが覚えられるように短くした。毎朝の朝礼で復唱しそれらに基づいて行動するように心がけている。ただ、地域密着型のサービスの意義を踏まえた理念にはなっていない。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運動会やお祭りなど地元の方から声をかけていただき、地域住民のとの交流に積極的に取り組んでいる。その他にも施設と消防署で行っている火災時の避難訓練に参加して頂けるように言葉掛けを行っています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会を通して地域の人々にもだいぶ理解していただいている。
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者のご家族にも参加していただき、認知症についての理解と支援を得るための努力をしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	二ヵ月に一度、運営推進委員会を実施し、行事、前回指摘された評価などについての結果、状況報告し担当者と話し合っている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な講習会（月一回のミーティング）で身体拘束についての話し合いを実施。長時間車椅子に座らせないようにしたり、調子が良い利用者様には日光浴などを実施。また管理者以外にも研修の参加を検討している。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングの中でどのような行為が虐待になるのか話し合い、理解を深め実践に取り組んでいる。また、やむを得ない場合などは家族より承諾を得ている。玄関の施錠に関してはまだ改善されず。前回と施錠している場所も変わらず施錠している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	研修など参加した場合は、報告書などを提出し全スタッフと話し合う場を設けているが、全スタッフが日常生活自立支援事業や成年後見人について理解はしていない。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ケアマネ、管理者を含め本人と家族を通して十分討議し、納得がいくまで話し合いをしている。入居者に対して新しい事を試みる時は、必ず家族の了解を得ている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	なるべくご家族に面会に来ていただき、面会に来た際には要望、意見などを聞きケアプランを基にモニタリングを実施。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングなどで意見を聞いたり、常日頃からスタッフの話に耳を傾け、施設長に報告をし改善出来る点は改善し、無理な場合は社長に報告し管理者会議の議題として取り上げている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフ一人ひとりが質を向上させていける様に意欲的に働ける現場づくりをしている。管理者以外にも研修等に参加し認知症についての理解を知ったうえで対応すべきである。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新しいスタッフがいる時は必ず施設長または管理者が指導にあたる。慣れてきた場合は、働きながら技術や知識を身につけていただく。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	おもに社長、施設長が同業者との交流を通じて質の向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネを中心に本人と面談し、要望や不安に思っている事などを聞き、その人が安心して暮らせる所とだけ思っただけ様な心掛けをしながら話を聞くように努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人と同様、ケアマネを中心に入所前に面談し今までの生活歴や病歴、要望、不安に思っている事などを聞き、家族との関係を深める努力をしている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	代表者以外にも全スタッフを含め、その応じたりハビリや支援などを考え、なるべく本人の要望を取り入れて実施している。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	2Fの入居者はほぼ全員が自立している為、お互いを助け合い協力しながら生活している場面がみられる。男性の入居者に対しては居室にこもったり、孤立してしまう方がいるのでその事に対してはは2階担当のスタッフと話し合う必要がある。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係をきづいている	ここに入居される以前は一人で暮らしていた方や息子、娘夫婦と一緒に暮らしていた方が多いのでなるべく面会に来ていただいたり、ご家族との外出を勧めている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方が面会に来て下さる事はあるが、施設から馴染みの店に行ったり遊びに行く事はない。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	2Fの人はほぼ自立している人が多いので入居者同士が支え合い協力して生活する事ができる。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	社長、施設長を中心に必要に応じて相談や支援に努め、時々連絡を入れながら経過を見守っている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの性格を把握し本人にとってベストな環境で暮らせるような対応をスタッフ全員が心がけ対応している。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴をスタッフ全員が把握し支援している。生活空間の中で居室内に馴染みの物を置いていない状態の入居者が多いので愛用していた物や昔使っていた物をご家族に持ってきていただく様に呼びかける。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の体調や様子をみながら毎日の現状把握に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネを中心に家族や本人の意向、要望など医師、看護師の意見も取り入れながら本人にとって有意義な生活を送れるようなケアプランを作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりケース記録を作成し排泄時間や気付いた点、問題点などを気がついたスタッフが記入し、ミーティングの議題として取り入れ計画の見直しをしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その入居者にあつた支援やサービス、リハビリをケアプランをもとに実践している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	スタッフと一緒に買い物に行ったり、散髪に行く事によって地域の人との交流を深め支援している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月定期的に病院への受診を支援している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日看護師が居る訳ではないので何かあった場合、いち早く何をすべきなのかのような対応をとっていいのか困る。その為各自が個々の入居者の状態を把握しておくようにつとめている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	時間がある場合はケアマネが直接病院に行き、入院時の状況などを聞き家族と連絡をとり相談しながら対応している。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	社長、施設長を含め家族の要望を聞き、本人にとってどのような対応が望ましいのか病院関係者と相談のうえ対応するようにしている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを取り入れた事でいち早く急変に備える事が可能になった。また常にミーティングで急変に対する対応について話し合っている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年、災害の発生に備えて昼間、夜間の場合を想定して訓練を実施。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合った声かけや支援を把握しプライバシーの確保を徹底する。以前入浴時についたてが無かったが付けてもらい、トイレ介助の際も必ずカーテンを閉めるよう気をつけるようになった。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表しじぶんでたり、自己決定できるように働きかけている	自己決定が出来る入居者に関しては本人の好みの物や要望を取り入れる事が出来るが、意志の疎通が出来ない入居者に関してはスタッフの都合で解釈してしまってる部分がある。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	流れ的には職員側のペースで進めてしまう傾向はあるが、各自がしたいことを出来るだけ優先し（入浴・散歩等）楽しい時間の共有を望んでいます。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2Fの入居者の方は自分で出来る人が多いので季節に合った身だしなみを心掛け、声かけし着ていただいている。自分で出来ない入居者に関しては、スタッフが対応し本人と一緒に自分の着たい衣類を選んでもらう様にしている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	1Fで食事の準備をしている為作る作業には関わる事は無いが、スタッフと配膳、下膳、食器洗い、食器拭きをしていただいている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれの入居者に合わせて、食事量や水分制限のある入居者を把握し支援している。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事をした後は必ず実施している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	だいたいの時間を把握し早めに声かけする事で失禁の回数を減らす努力をしている。歩けなくなったからといってすぐにオムツにするのではなく、歩行訓練を兼ねてなるべくトイレでの排泄を心がけている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	十分な水分、運動を心掛け自然に出るような対策をとっている。それでも困難な場合は薬を使用し対応している。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	スタッフの人数によって入居者の入りたい時間に入れられる事は出来ず、すべてスタッフの都合に合わせた時間に入ってもらっている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の体調に合わせていつでも休めるように対応している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日常の記録を参考に医療関係と相談の上、服薬調整に努めている。その上で状態観察をおこなっています。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとり役割を見つけ張りのある毎日をご過ごしてもらえるように支援している。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	2Fの入居者に関してはまだ自立している方が多いので、気分転換に散歩やドライブ、外出などの計画を立てている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	今現在お金を管理出来る入居者は居ない為、すべて事務所管理となっている。
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	なるべくご家族との関係を大切にして欲しい為、本人からの要望があれば電話や手紙のやり取りをしていただいている。
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	入居者にとって居心地の良い空間で過ごしてもらえるように季節の花などを飾り、季節感を出す様に努力している。
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	スタッフの目が届く範囲で一人で過ごせる場所や共用出来るスペースがある。
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人にとって安心して住みやすい環境づくりを目指し、努力している。
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	入居者が安心して歩行出来るように色々な場所に手すりを設置し支援していく。歩きながら休む場所（椅子・ベンチ）の確保も必要。

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている あ 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない